



番号	22	県別	島根	事業場所	出雲市平田町木綿街道地区
実施団体等	木綿街道振興会			代表者	高橋 猛
事業名	学と連携したAR(拡張現実)による木綿街道おもてなし事業				
事業目的	観光などで気軽に活用ができるようになったスマートフォン・タブレットを使ったAR(拡張現実)技術等のIT技術を使ったおもてなし事業を松江工業高等専門学校と連携して行う。あわせて、木綿街道の街並みを利用した新たな観光素材の開発としてプロジェクションマッピングに取り組む。				
事業概要	<p>① IT技術(AR・レコメンドシステム等)の会議、勉強会の実施</p> <p>② 松江高専との連携による研究開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ARの開発</li> <li>・ 木綿街道プロジェクションマッピングの開発</li> <li>・ レコメンドシステムの開発</li> </ul> <p>③ 現地実証実験(木綿街道プロジェクションマッピング・AR実証実験)</p>				
事業効果	<p>① 松江高専と一緒に事業実施を行ったことで、今後のまちづくりのパートナーとしての関係が構築できた。</p> <p>② IT技術を取り入れることで、木綿街道の魅力がアップし、ガイドを利用しない観光客に対しても、「おもてなし」ができた。</p> <p>③ “自撮り”等のAR技術は、あらゆる世代も楽しむことのできるコンテンツであることが実証できた。</p> <p>④ IT技術とレコメンドシステムとの組み合わせにより、木綿街道の魅力アップと観光客数の拡大に期待できることが解った。</p>				
活動状況					
	IT技術の会議・勉強会		プロジェクションマッピングの開発		